

第 1 回桑名市地方創生会議 会議概要

日時・場所	平成 27 年 5 月 29 日（金）14:00～15:30 桑名市役所本庁舎 3 階第二会議室
出席者	委員：9 名 市：4 名 事務局：3 名（三重大学 3 名）
会議次第	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 会長及び副会長の選任 5. 審議事項 （1）桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性について 6. その他 7. 閉会
概要 （主な意見）	4. 会長及び副会長の選任 ・会長に西村訓弘委員、副会長に横井敬之委員が選任された。 5. 審議事項 （1）桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性について ・2060 年の「桑名の街がどういう姿か?」「桑名市の市民が希望する街がどんな街なのか?」を戦略として考える必要がある。 ・「どんな人たちがどんな姿で生きているか?」ということを考え、理想があれば、人口ビジョンも分かりやすくなる。 ・「本物力こそ桑名力」の「本物」の意味を考え、世界から見て桑名の特徴的な部分を考える必要がある。 ・高速、J R、近鉄、バスなどの交通機関が比較的充実しているので「整理された都市」にしていくと良いのではないかと。 ・観光客が一目で理解でき、どこにでも行けるように交通案内表示などを作成する必要がある。 ・桑名駅前が無味乾燥な雰囲気であるため、もっとわかりやすく、桑名の魅力がアピールできる玄関口にするべく検討が必要ではないかと。 ・老人住宅や子育てしやすい街を作っていくのが良いのではないかと。 ・人生において様々なことにチャレンジした後も桑名へ「帰って来れる街」、「帰ってきたい街」、余裕をもって親と長く一緒に暮らせる街にしていくために、ベッタタウンとしての機能をもう一度見直

	す必要がある。 ・大都市の役割を桑名がするのではなく（例：大都市の大企業の本社を桑名市に誘致する等）、アクセスの良さを利用し、桑名市でしかできない仕事を育てていくことが重要ではないか。 ・桑名市の有効求人倍率は4月に1.23倍であり、就業地別有効求人倍率は1.9倍と県内トップである。つまり、他県から桑名市での仕事を探している人が多い中、中小企業への人材提供が出来ていない状況を回復させ、人材を確保できるように、中小企業の求人情報をこれまでより発信できるようにする必要がある。 ・桑名にしかない、伝統の仕事・魅力のある仕事を見つけることが大事ではないか。 ・アクセスの良さを利用して中心市街地をより活性化させ、企業城下町として、そして多くの観光客に周知し、来日できるようにしていくことが重要である。 ・名古屋に来る観光客が桑名に求めていることを理解し、桑名でしか体験できないことを育てていく必要がある。ちなみに、桑名は名古屋からの日帰り観光地としてはベストであるのではないか。「名古屋には無くて、桑名にはあるもの」名古屋から来たくなるものを磨くべき。 ・総合計画が周知できていない中、戦略をどのようにまとめ上げていくのか。 ・総合計画を策定する際に聞いた若い人の意見を活用しながら、将来、桑名が故郷であって良かったと自覚してもらえるように「桑名に誇りをもってもらうこと」が大事ではないか。 ・小・中学校の授業で、総合計画を取り入れた授業を行うことで、子どもたちから桑名について考える力を付けられる。 ・2027年、リニア開通により、名古屋―東京が40分で行き来が出来るようになる。それにより、桑名から名古屋への移動時間が約20分であるため、桑名―東京が1時間+αで移動できるようになる。 ・リニア開通を見通した視点を入れ、東京を通勤圏として捉え、桑名の将来のライフスタイルがどのようなポジションになっているか考えることも必要と考える。 ・中小企業が元気を出せる街にし、さらに75歳以上の人が桑名で生活していく上で必要なことを考慮すべきである。 (例：医療福祉の発展など) ・市民が興味を持ち、関わりやすい産業を見つけ、みんなで一緒に産
--	---

	業を作っていくことによって、桑名力が見えてくるのではないか。 (例：鈴鹿市でいうところの鈴鹿サーキット) ・この地域の企業がフライパンを生産し、大ヒットしている。伝統産業である鋳物をもっと発展させ、南部鉄器のように桑名のブランドにしていくのが良いのではないか。 ・「働くひとたちにとって良い街」となるためには、中小企業が元気になり、「桑名といえば、この産業」という、市民が誇りに思い、一体となれる「桑名の産業＝桑名力」を育て、継承していかなければならない。 ・「子供の学力の高い街」、「外国人と市民が気軽に交流できる街」、「文化と芸術のあふれる街」には、リタイアした後も活動でき、市民一人ひとりが輝く街にしていくことが良いのではないか。 ・桑名市のポジショニングが大切である。「名古屋から日帰りで帰れる観光の街」、「学力と芸術の街」、「都市の規模感がちょうどいい街（自分の活躍が実感しやすい街）」等街の特徴や誇りが人の求心力となる。 ・ユネスコ無形文化遺産登録を目指している「石取祭」、そして、「多度祭」のような、桑名の伝統文化をアピールし、桑名を訪れる人を増やしていく。 ・観光や道案内のサインを設置するなど、分かりやすいまちづくりに心がけ、「桑名市へ訪れた観光客がストレスを感じない街」にすることが大切である。 ・桑名で魅力ある仕事に就き生活していける、つまり「ここで働ける」ということが大切である。 ・現在、駅の整備を計画しているので、桑名の玄関口としてよりよく機能するようにする。リニア開通の件もあることから、今後首都圏をはじめ、遠隔地の人が桑名に求めているものを知り、付加価値を向上させることが大切である。値段が高くても付加価値に満足する人たちも増えている。
担当課	市長公室 政策経営課